

居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員調査

《回答目安時間：15分》

令和4年4月
一般社団法人日本介護支援専門員協会

【調査の趣旨と目的】

この調査は、次期介護保険法改正に関する議論において、日本介護支援専門員協会（以下「当協会」と言う）が、社会保障審議会をはじめ各種委員会等において発言したり、要望書等を作成したりする際に、会員の皆様の意見を反映したものとするために実施します。

調査では、「より良いケアマネジメントを提供できる環境作り」という視点から、次期改正の重要な論点となる「居宅介護支援費の利用者負担」や、「居宅介護支援事業所（介護支援専門員）の社会インフラ（高齢者の社会生活全般を支えるための基盤）としての機能と、その機能を果たすことにより生じる業務負担」の問題について、皆様のご意見をお伺いします。

調査の趣旨や目的をご理解いただき、介護の最前線で利用者と向き合う専門職としての声を制度等に反映させるため、ご多忙中に申し訳ございませんが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

『記入上の注意』

- 1) 質問には、必ずご本人（介護支援専門員）がお答えください。
※指定がない限り「要介護者」についてお答えください（要支援者は除きます）。
- 2) 質問は23問（主要質問14問・基礎質問9問）あります。各質問の指示に従って、あてはまる文章や事項を選び番号に○を付けてください。また、その他などの選択肢にある（ ）内等の空欄には具体的な内容をご記入ください。
- 3) 質問は相互関係を踏まえ設けられていますので、指示がない限り全ての質問にお答えください。
なお異動や転職により、設問で指定された期間内での回答が困難な場合は、居宅介護支援事業所での直近の勤務の中での読み替えでご回答いただきますようお願いいたします。
例：Q1の場合、令和3年9～12月の期間としていますが、令和3年8月に異動された場合は、令和3年5月～7月と読み替えてください。
- 4) ご記入いただいた調査票は同封の封筒に封入して、令和4年4月28日（木）までに（できるだけ早めに）ご投函ください。
- 5) この調査につきまして、ご不明の点等がございましたら、ご面倒ですが、下記までご連絡くださるようお願いいたします。

一般社団法人日本介護支援専門員協会
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1丁目11番地 金子ビル2階
TEL：03-3518-0777 FAX：03-3518-0778
Mail：jigyoka@jcma.or.jp
担当：吉田洋子・口野沙和

「より良いケアマネジメントを提供できる環境作り」に関して、いくつかお尋ねします。

Q1. 令和3年9～12月の3ヶ月の間に、貴事業所では利用者の安否確認をどのくらい実施しましたか。モニタリング時を除いて、全利用者のうち何%程度の利用者に実施したかをお答え下さい。 【1つだけに○】

※ ここでの「安否確認」とは、月1回のモニタリング訪問とは別に、様子観察や転倒等の事故の早期発見等、予測されるリスクの発生防止や早期対応のために、定期または不定期に利用者宅を訪問することです。

- 1. 全利用者のうち 80%以上は実施した
 - 2. 全利用者のうち 50%以上 80%未満の利用者に実施した
 - 3. 全利用者のうち 30%以上 50%未満の利用者に実施した
 - 4. 全利用者のうち 30%未満の利用者に実施した
 - 5. 該当する利用者はいないが他の月は実施した
 - 6. 実施しなかった
- } → **SQ1** および **SQ2** へお進みください
- **Q2**へお進みください

⇒**SQ1.** Q1で1.～5.と回答された方にお尋ねします。Q1の安否確認（見守り支援含む）を実施した理由の中で、最も多かったものを一つお答えください。

【1つだけに○】

- 1. 利用者の状態から介護支援専門員が必要性を判断して実施した
- 2. 利用者や家族からの要請で実施した
- 3. サービス担当者会議で介護支援専門員の役割として位置づけているので実施した
- 4. その他(具体的に)

⇒**SQ2.** Q1で1.～5.と回答された方にお尋ねします。Q1の安否確認（見守り支援含む）を実施した成果の中で、最も多かったものを一つお答えください。

【1つだけに○】

- 1. 利用者の状態の変化を早期発見できた
- 2. 自宅での事故などのトラブルを発見できた
- 3. 利用者や家族の相談や不安にタイムリーに対応できた
- 4. 利用者との信頼関係の構築が促進された
- 5. その他（具体的に)

Q2. 令和3年の一年間で、利用者の怪我等によるトラブルを原因とする緊急訪問を行った件数は、だいたい何件くらいありましたか。 【1つだけに○】

※「緊急訪問」とは、本人や家族、関係者からの通報によるモニタリングや定期的安否確認を除く予定外の訪問のことです。

- | | | |
|------------------|---|----------------|
| 1. 20件以上あった | } | → SQ1 へお進みください |
| 2. 10件以上20件未満あった | | |
| 3. 10件未満あった | | |
| 4. 実施しなかった | | → Q3 へお進みください |

⇒**SQ1.** Q2で1.~3.と回答された方にお尋ねします。緊急訪問を行わざるを得なかった最も多い理由をお答えください。 【1つだけに○】

1. 近隣に頼れる家族や友人がいないため
2. 緊急時に頼れる社会資源やサービスが無い
3. 家族からの緊急訪問の要請があったため
4. その他（具体的に _____）

Q3. 令和3年の一年間で、利用者の介護に関すること以外の相談を受けた利用者の割合をお答えください。 【1つだけに○】

※「利用者の介護に関すること以外の相談」とは、以下のSQ1に上げている1から5など、利用者の介護等の支援に関係のない相談のことです。

- | | | |
|-------------------|---|----------------|
| 1. 80%以上の利用者 | } | → SQ1 へお進みください |
| 2. 50%以上80%未満の利用者 | | |
| 3. 30%以上50%未満の利用者 | | |
| 4. 30%未満の利用者 | | |
| 5. 実施しなかった | | → Q4 へお進みください |

⇒**SQ1.** Q3で1.~4.と回答された方にお尋ねします。相談内容について最も多いものをお答えください。 【1つだけに○】

1. 行政等の諸手続きに関する相談
2. 家族間の人間関係に関する相談
3. 家族の生活に関する相談（家族の療養や就業、進学など）
4. ご近所や地域住民に関する相談
5. 財産の管理や相続に関する相談
6. 詐欺や悪質な訪問販売などの犯罪に関する相談
7. その他（具体的に _____）

日本介護支援専門員協会 [居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員向け調査票]

Q4. 令和3年の一年間で、介護保険制度以外の諸手続きの支援を行った利用者の割合をお答えください。 【1つだけに○】

- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 80%以上の利用者 2. 50%以上 80%未満の利用者 3. 30%以上 50%未満の利用者 4. 30%未満の利用者 5. 実施しなかった | } | <p>→ SQ1 へお進みください</p> <p>→ Q5 へお進みください</p> |
|--|---|--|

⇒**SQ1.** Q4 で 1.~4.と回答された方にお尋ねします。Q4で行った介護保険制度以外の諸手続きの支援の具体的な内容をお答えください。該当するものすべてに○をつけてください。 【該当するものすべてに○】

- 1. お金の入金や引き出しなど金融機関の手続き
- 2. 土地や住宅関係の手続き
- 3. 行政上の諸手続き(1.2.を除く)
- 4. その他 (具体的に _____)

Q5. 令和3年の一年間で、入退院時の手続き支援を行った利用者の割合をお答えください。 【1つだけに○】

- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 80%以上の入退院をした利用者 2. 50%以上 80%未満の入退院をした利用者 3. 30%以上 50%未満の入退院をした利用者 4. 30%未満の入退院をした利用者 5. 実施しなかった | } | <p>→ SQ1 へお進みください</p> <p>→ Q6 へお進みください</p> |
|--|---|--|

⇒**SQ1.** Q5 で 1.~4.と回答された方にお尋ねします。あなたが、入退院時の手続き支援を行わざるを得なかった理由として最も多いものをお答えください。 【1つだけに○】

- 1. ご近所に頼れる家族や友人がいないため
- 2. 独居や高齢世帯などにより家族機能が十分でないため
- 3. 医療機関から対応を求められたため
- 4. その他 (具体的に _____)

Q6. 令和3年11月の1ヶ月間で、入退院時の生活用品等の調達を行った利用者の割合をお答えください。 【1つだけに○】

- 1. 80%以上の入退院をした利用者
 - 2. 50%以上 80%未満の入退院をした利用者
 - 3. 30%以上 50%未満の入退院をした利用者
 - 4. 30%未満の入退院をした利用者
 - 5. 実施しなかった
- } → **SQ1** へお進みください
- **Q7**へお進みください

⇒**SQ1. Q6で1.~3.と回答された方にお尋ねします。あなたが、入退院時の生活用品等の調達を行わざるを得なかった最も多い理由をお答えください。**

【1つだけに○】

- 1. ご近所に頼れる家族や友人がいないため
- 2. 独居や高齢世帯などにより家族機能が十分でないため
- 3. 医療機関から対応を求められたため
- 4. その他（具体的に _____)

Q7. 令和3年の一年間で、災害発生または災害の危機が迫った時に警戒の呼びかけや避難支援を行った利用者の割合をお答えください。 【1つだけに○】

- 1. 80%以上の利用者
- 2. 50%以上 80 未満%の利用者
- 3. 30%以上 50 未満%の利用者
- 4. 30%未満の利用者
- 5. 対象となる災害やその危険性が起きたが実施しなかった
- 6. 対象となる災害やその危険性が起きる状況が発生しなかった

Q8. 以下の業務で、本来は居宅介護支援の業務とは異なると思うものはどれですか。該当するものすべてに○をつけてください。 【該当するものすべてに○】

- 1. 利用者の安否確認(見守り支援含む)
- 2. 利用者の怪我等によるトラブルを原因とする緊急訪問
- 3. 利用者の介護保険制度以外の相談
- 4. 利用者の介護保険制度以外の行政上の諸手続きの支援
- 5. 利用者の入退院時の医療機関の手続き支援
- 6. 利用者の入退院時の生活用品等の調達
- 7. 利用者の災害発生または災害の危機が迫った時の警戒の呼びかけや避難支援

次に、居宅介護支援事業所における居宅介護支援費の利用者負担についてお尋ねします。

Q9. 令和3年の一年間で、居宅介護支援を行った利用者で給付管理に至らなかった事例は、
だいたい何件くらいありましたか。実件数でお答えください。 【1つだけに○】

1. 20件以上あった
2. 10件以上20件未満あった
3. 5件以上10件未満あった
4. 5件未満あった
5. なかった

Q10. 以下の業務の中で、居宅介護支援費とは別途の費用として徴収すべきと思うものは
どれですか。該当するものすべてに○をつけてください。 【該当するものすべてに○】

1. 利用者の安否確認(見守り支援含む)
2. 怪我等によるトラブルを原因とする緊急訪問
3. 介護保険制度以外の相談
4. 介護保険制度以外の行政上の諸手続きの支援
5. 入退院時の医療機関の手続き支援
6. 入退院時の生活用品等の調達
7. 災害発生または災害の危機が迫った時の警戒の呼びかけや避難支援

Q11. 居宅介護支援費が全額給付である(利用者負担がない)ことにより、不適切な
サービス利用を要求する利用者や家族に対して、介護支援専門員の公正中立な立場を
示しやすかった経験はありますか。 【1つだけに○】

1. ある
2. ない

Q12. 制度及び環境が現状のままであることを前提とした場合、居宅介護支援費の利用者
負担が導入されることについて、あなたは賛成ですか、それとも反対ですか。

【1つだけに○】

1. 賛成 → 次頁の **Q13** と **SQ1** にお答えください
2. 反対 → 次頁の **Q14** と **SQ1** にお答えください
3. わからない → 最終頁の **F1(P8)** にお進みください

Q13. Q12で「1.賛成」と回答した方だけにお尋ねします。

あなたが賛成する理由は、何ですか。次の中からあてはまるもの全てに○をつけ、10.に○をつける場合は（ ）の中に具体的にお書きください。

【該当するものすべてに○】

1. 介護支援専門員の質が向上する
2. 事業所のコンプライアンスに関する意識が向上する
3. ケアマネジメントに関する利用者の意識が向上する
4. 介護保険制度の厳しい財政が緩和される
5. 質の高い居宅介護支援事業所が選ばれやすくなる
6. 通所介護等の他の介護サービスには利用者負担がある
7. 介護支援専門員の社会的地位向上につながる
8. 利用者本位のケアマネジメントができる
9. セルフケアプランが促進される
10. その他(具体的に)

⇒**SQ1.** では、Q13.で○をつけたものの中で、あなたが最も重要だと考える項目はどれですか。項目の番号をお書きください。

最も重要な項目： _____ 番 →最終頁の **F1(P8)**にお進みください

Q14. ⇒Q12で「2. 反対」と回答した方だけにお尋ねします。

あなたが反対する理由は、何ですか。次の中からあてはまるもの全てに○をつけ、10.に○をつける場合は（ ）の中に具体的にお書きください。

【該当するものすべてに○】

1. ケアマネジメントの利用が抑制されることで、早期発見早期対応が困難になる
2. 利用者や家族からの不要なサービス利用などの要求がエスカレートする
3. 介護支援専門員の本来業務以外への要求が強まる
4. 利用者や家族との対等な立場での説明や支援が困難になる
5. 集金業務や利用料管理などの業務負担が増大する
6. セルフケアプラン等を隠れ蓑とした囲い込みが増加する
7. セルフケアプランが増加し、保険者業務負担が増大する
8. 無償で相談対応する機関が減ることで、市町村の業務負担が増える
9. 無償で相談対応する機関が減ることで、地域包括支援センターの業務負担が増える
10. その他(具体的に)

⇒**SQ1.** では、Q14で○をつけたものの中で、あなたが最も重要だと考える項目はどれですか。項目の番号をお書きください。

最も重要な項目： _____ 番 →最終頁の **F1(P8)**にお進みください

最後に、あなた自身について伺います。

F 1. あなたが、居宅介護支援事業所で介護支援専門員としての業務に従事した年数は、通算で何年くらいになりますか。年数をできるだけ正確にご記入ください。

_____年くらい

F 2. あなたは、主任介護支援専門員ですか。 【1つだけに○】

1. はい 2. 現在研修を受講中 3. いいえ

F 3. あなたは、居宅介護支援事業所の管理者ですか。 【1つだけに○】

1. はい 2. いいえ

F 4. あなたがお勤めの事業所の所在地（都道府県）はどちらですか。

_____都府道県

F 5. あなたの事業所が所在する市町村は、次のどれにあたりますか。 【1つだけに○】

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 東京都特別区・政令指定都市 | 3. その他の市 |
| 2. 中核市・施行時特例市 | 4. 町村 |

F 6. あなたの事業所が所在する村の人口規模をお答えください。 【1つだけに○】

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 1万人未満 | 4. 10万人以上 20万人未満 |
| 2. 1万人以上5万人未満 | 5. 20万人以上50万人未満 |
| 3. 5万人以上 10万人未満 | 6. 50万人以上 |

F 7. 令和3（2021）年11月30日時点での、あなたが担当していた居宅介護支援の利用者は、だいたい何人くらいでしたか。人数をお書きください。

_____人

F 8. あなたがお勤めの事業所の開設主体は、何ですか。 【1つだけに○】

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 社会福祉協議会 | 4. 市町村 |
| 2. 社会福祉法人 | 5. その他(具体的 _____) |
| 3. 医療法人 | |

F 9. あなたの年齢をお書きください。

_____歳

質問は以上です。ご回答、ありがとうございました。